

## 平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社オルトプラス 上場取引所 東  
 コード番号 3672 URL http://www.altplus.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 石井 武  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO執行役員財務・経理部長 (氏名) 竜石堂 潤一 (TEL) 03-4405-4339  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成29年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	978	33.8	△258	—	△246	—	△247	—
29年9月期第1四半期	731	18.6	△66	—	△31	—	△129	—

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 △257百万円( —%) 29年9月期第1四半期 △147百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	△19.40	—
29年9月期第1四半期	△12.88	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	3,354	2,235	66.1
29年9月期	3,556	2,478	69.2

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 2,217百万円 29年9月期 2,459百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年9月期の配当金は、現在未定であります。

## 3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

平成30年9月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年9月期1Q	12,751,040株	29年9月期	12,703,040株
② 期末自己株式数	30年9月期1Q	1,138株	29年9月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年9月期1Q	12,734,482株	29年9月期1Q	10,083,640株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 四半期決算補足資料につきましては、四半期決算の発表後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、アジア新興国等の景気の先行きや国際情勢の緊張による不確実性の高まりがあるものの、政府と日銀による経済政策及び金融政策等の推進により緩やかな回復基調が続いております。国内のインターネット利用環境につきましては、スマートフォン及びタブレット型端末によるインターネット利用が引き続き増加しております(注1)。

このような事業環境の下、当社はソーシャルゲームの新規開発及び運営を進めるとともに、他社が開発・運営しているゲームタイトルの運営受託やオフショア開発(注2)案件の獲得を進めてまいりました。また、ゲームで培った開発技術を活かした新規サービスの開発及び提供の準備を進めてまいりました。

ゲーム事業では、新規ネイティブ(1タイトル)の運営を受託する一方で、自社ネイティブ(1タイトル)の運営を終了するなど、運営タイトルの選択と集中を継続して進めてまいりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末において、自社タイトル並びに他社との協業4タイトル、パブリッシング1タイトル、運営移管5タイトルの運営を行っております。また、新規タイトルの開発につきましては、IP保有会社を含む他社との協業により、開発に伴う各種リスクの低減を図りながら複数タイトルの開発を進めてまいりました。ゲーム支援事業では、ソーシャルゲーム会社への人材提供を行うなど、ソーシャルゲーム会社におけるゲーム資産価値の最大化を図るための各種サービスを拡充することにより、案件の獲得を進めてまいりました。開発事業では、主にベトナムでのオフショア開発や、ゲーム開発で培った開発技術を利用した新サービスの開発を進めてまいりました。オフショア開発では、オフショア開発拠点としてのベトナム子会社を活用した他社ウェブサービス等の開発受託等の案件獲得を進めてまいりました。また、業務提携先である韓国NSHC社が開発したスマートフォンアプリ向け統合セキュリティソリューション「DxShield」の販売を進めました。

運営中のタイトルにつきましては、引き続き運営の効率化を進め、売上減少に見合うコスト削減を実施することにより採算性を維持するとともに、新規タイトルについては、他社との協業を進めることにより当社が負担する開発費を抑制してまいりました。ゲーム支援事業や開発事業については、新規案件の獲得を進めることにより、収益増を目指してまいりました。また、全社において人員の適正配置等による人件費の抑制を進めるとともに、各種費用の削減を継続して進めてまいりました。しかしながら、現在開発中である複数の新規タイトルの開発費や新規事業等の費用及び全社管理費等が、運営タイトル等から得られる収益を上回って推移いたしました。また、為替の変動に伴う為替差益として12,733千円を計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は978,347千円(前年同四半期比33.8%増)、営業損失は258,845千円(前年同四半期は66,899千円の営業損失)、経常損失は246,393千円(前年同四半期は31,253千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は247,047千円(前年同四半期は129,897千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

(注)1. 総務省「通信利用動向調査」

2. ソフトウェア、ウェブサービス開発及びスマートフォン向けアプリ等の開発や運用保守を、海外企業等に委託する開発手法

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,354,460千円となり、前連結会計年度末に比べ201,915千円減少いたしました。流動資産は2,926,405千円(前連結会計年度末比227,174千円の減少)となりました。これは主に現金及び預金の減少306,879千円及び売掛金の増加88,722千円によるものであります。固定資産は428,054千円(同25,258千円の増加)となりました。これは主に投資その他の資産の差入保証金の増加12,625千円及びその他の増加19,556千円によるものであります。

#### ② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,118,800千円となり、前連結会計年度末に比べ40,549千円増加いたしました。流動負債は638,146千円(前連結会計年度末比48,187千円の増加)となりました。これは主に買掛金の増加34,694千円によるものであります。固定負債は480,654千円(同7,638千円の減少)となりました。これは長期借入金の減少7,638千円によるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,235,660千円となり、前連結会計年度末に比べ242,465千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失金額の計上247,047千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績見通しにつきましては、ソーシャルゲーム業界を取り巻く環境の変化が大きく、また、オフショア開発等、新規事業についてもその動向を予測することが難しいことから、当社グループの業績が短期間で大きく変動する可能性があります。このため、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから、業績予想の開示を見合わせます。なお、今後の進捗等を踏まえ、算定が可能になり次第速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,620,775	2,313,895
売掛金	452,976	541,699
その他	82,827	72,810
貸倒引当金	△3,000	△2,000
流動資産合計	3,153,579	2,926,405
固定資産		
有形固定資産	41,124	37,739
無形固定資産	30,859	27,321
投資その他の資産		
差入保証金	168,352	180,977
その他	162,459	182,016
投資その他の資産合計	330,812	362,993
固定資産合計	402,796	428,054
資産合計	3,556,375	3,354,460
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	136,158	170,852
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	97,152	97,152
その他	256,647	270,141
流動負債合計	589,958	638,146
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	437,000	437,000
長期借入金	51,292	43,654
固定負債合計	488,292	480,654
負債合計	1,078,250	1,118,800
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,648,868	2,660,868
資本剰余金	2,637,868	2,649,868
利益剰余金	△2,829,427	△3,083,471
株主資本合計	2,457,309	2,227,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	2,240
為替換算調整勘定	2,558	△11,514
その他の包括利益累計額合計	2,558	△9,274
新株予約権	1,515	-
非支配株主持分	16,741	17,668
純資産合計	2,478,125	2,235,660
負債純資産合計	3,556,375	3,354,460

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	731,465	978,347
売上原価	613,219	1,014,312
売上総利益	118,246	△35,964
販売費及び一般管理費	185,145	222,880
営業損失(△)	△66,899	△258,845
営業外収益		
受取利息	13	6
受取配当金	748	-
雑収入	7,178	426
為替差益	26,131	12,733
持分法による投資利益	3,042	1,289
営業外収益合計	37,115	14,456
営業外費用		
支払利息	1,246	860
雑損失	222	1,143
営業外費用合計	1,468	2,004
経常損失(△)	△31,253	△246,393
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	1,000
新株予約権戻入益	18	1,515
特別利益合計	18	2,515
特別損失		
投資有価証券評価損	92,978	-
特別損失合計	92,978	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△124,213	△243,878
法人税、住民税及び事業税	1,217	2,812
法人税等調整額	2,499	△570
法人税等合計	3,717	2,242
四半期純損失(△)	△127,931	△246,120
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,966	926
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△129,897	△247,047

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△127,931	△246,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	2,240
為替換算調整勘定	△19,840	△14,073
その他の包括利益合計	△19,840	△11,833
四半期包括利益	△147,771	△257,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△149,738	△258,880
非支配株主に係る四半期包括利益	1,966	926



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(簡易株式交換による完全子会社化)

当社は、平成30年1月18日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社とし、株式会社scopes（以下「scopes」といいます）を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます）を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結しました。

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社scopes

事業の内容 スマートフォンアプリ・ゲーム・Webサービスの開発・企画・運用コンサルティング

## ② 企業結合を行った理由

当社グループおよびscopesは、平成29年6月にリリースしたスマートフォン向けゲームアプリ「結城友奈は勇者である 花結いのきらめき」を共同で開発いたしました。その過程で、平成29年3月にソーシャルゲームの開発スタジオとして、合弁会社である株式会社エスエスプラスを設立いたしました。現在、合弁会社において、スマートフォン向けゲームアプリを複数、開発しております。また、scopes代表取締役である北村紀佳氏が当社執行役員に就任し、当社グループのゲーム事業を担当するなど、協業関係を構築しながら事業展開を図ってまいりました。この取り組みを進める中において、この度、これまでの協業関係をより深化させ、scopesのスマートフォン向けゲーム開発チームを当社グループ内に取り込み、scopesは最先端の技術の研究や、経営環境の変化に対応した新規事業の企画及び開発など、新規事業を創造する役割を、当社グループと一体となって進めていくことが、両社にとって今後の業容拡大のために有意義であるとの結論に至り、この度、株式交換を実施することとなりました。

## ③ 企業結合日

平成30年3月1日（株式取得予定日）

## ④ 企業結合の法的形式

当社を株式交換完全親会社とし、scopesを株式交換完全子会社とする株式交換

## ⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

## ⑥ 取得する議決権比率

100%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が株式を対価としてscopesの全株式を取得予定のためであります。

## (2) 被取得企業の取得原価及びその内訳

現時点では確定しておりません。

## (3) 株式の種類別の交換比率及びその算定方法並びに交付した株式数

## ① 株式の種類別の交換比率

	当社 (株式交換完全親会社)	scopes (株式交換完全子会社)
本株式交換に係る割当比率	1	138
本株式交換により交付する株式数	当社の普通株式：75,900株（予定）	

## ② 交換比率の算定方法

株式交換比率及び株式交換により発行する当社の交付株式数等につきましては、第三者機関に株式価値の算定を依頼し、その算定結果を踏まえて、両社協議の上決定しております

- (4) 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間  
現時点では確定しておりません。
- (5) 企業結合日に受け入れる資産および引き受ける負債の額並びにその主な内訳  
現時点では確定しておりません。